

消防・救急 広域組合に加入して 高まった安心感！

令和5年度で本市が奈良県広域消防組合に加入して10年目となりました。
今回は、広域消防組合加入の成果について検証してみます。

救急部門

広域に加入していて良かった！
広域連携でコロナの危機を乗り越えました

コロナ患者や発熱患者から救急依頼を受けて現場に着いても受入病院が
なかなか見つからず現場滞在時間が延びていきます。

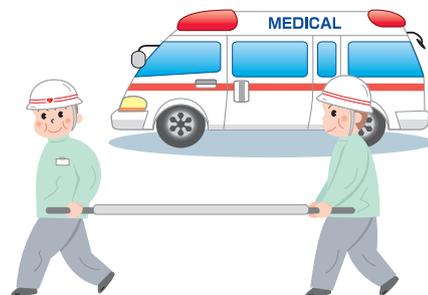
8月には、現場に6時間近く滞在するケースが発生しました。

救急車が受入病院を探すために現場滞在する平均時間の推移

令和2年	16.74分
令和3年	17.30分
令和4年	23.60分

もし、単独消防のままだったら…

大和郡山市の救急隊は3隊です。1台の救急車が何時間も現場に貼り付けになればたちまち、救急事態はひっ迫します。



高齢化社会になり、
救急依頼件数は激増しています。

(大和郡山市内)

平成27年	3,820件	(1日当たり)	10.5件
⇒ 令和3年	4,811件	(1日当たり)	13.2件
⇒ 令和4年	5,726件	(1日当たり)	15.7件

広域消防組合では、119番をいただいた現場に
最も近い救急車に出動指令します。